

●●●●● 編 集 後 記

インフォームド・コンセントという言葉がこれ程までに巷間に知れ渡ったときは、現在においてほかにないでしょう。少なくとも筆者がこの言葉を明確に意識したのは、「人体実験」にかんする砂原先生の記述（臨床医学研究序説）を読んだ1980年代の後半だと思われまゝ。特に双盲法におけるインフォームド・コンセントのありかたには当時少なからずパラナリズムの影響下にあったものにとっては実に感銘の深い経験でした。

それから随分と時間がながれ、これまでも多くのインフォームド・コンセントについての議論がなされてきたことは周知のとおりです。そこで本号の特集ですが、これらの先行する報告を踏まえての問題提起と実践課題が示されています。詳細は直接各論文にあたってください。

くとして、特に興味深い記述は加藤先生が指摘されている「インフォームド・コンセントが医師の患者に対する責務であり、サービスではない」ということです。患者サービスと思ひ込むことが決定的な誤解を生じる、とは実面的を射ているといえます。

初秋のこの季節は全国で臨床実習が行われているときであると思います。「巻頭言」で濱田先生が臨床実習での学生の不合格となる要因には学生の問題だけでなく指導者の問題もある、との重要な指摘が行われています。年若い経験の浅い指導者ほど学生に厳しく課題を多く課す、と聞いたことがあります。現在、学生に対してはほとんどなんでもありというか融通無碍の筆者にとって、確かに最初の頃は厳しかったかもしれないと、いささか赤面しつつ拝読させていただきました。（網本 和）

●編集顧問●

上 田 敏
五味 重 春
津 山 直 一
福 屋 靖 子
松 村 秩
横 山 巖
(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
安 藤 徳 彦
内 山 靖
大 川 弥 生
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
辛 島 修 二
菊 地 延 子
木 山 喬 博
工 藤 俊 輔
佐々木 伸 一
佐 藤 剛
佐 藤 秀 一
高 口 光 子
高 山 京 子
寺 田 久 美 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 尾 哲 男
仲 間 理
長 澤 弘
永 富 史 子
中 村 春 基
橋 元 隆
濱 出 茂 治
福 田 恵 美 子
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 省 三
諸 橋 勇
八 木 範 彦
山 下 隆 昭
山 本 和 儀



PT ジャーナルは第 13 回世界理学療法連盟学会を応援しています。

理学療法ジャーナル

(第 32 巻 第 11 号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

1998 年 11 月 15 日発行(毎月 1 回 15 日発行)

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 本誌編集室直通(03)3817-5703

(担当:長谷川・富永)

定価(本体 1,600 円+税)

(配送料 92 円)

販売部直通(03)3817-5659・5660

1998 年年きめ予約購読料 19,200 円
(税込)
(送料弊社負担)

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

E-mail: ptj @ nna. so-net. or. jp

印刷所 三 報 社 印 刷 (株) ☎(03)3637-0005

Web http: //www. igaku-shoin. co. jp

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1998, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

R <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

・ 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。